

ふるさと 訪ねある記

30



こうりんじ 香林寺山門 (豊里)

香林寺は、戦国大名葛西氏の支館の一つである月輪館(豊里町加々巻地区)を治めていた月輪六郎・七郎兄弟の菩提寺として、天正12年(1584)に建築されました。

訪れた人を最初に出迎える山門は、室町時代後期の天文9年(1540)に、月輪館の東門として建築されたものを香林寺開山時に移築したもので、県重要文化財に指定されています。また、市内で最も古い年代に建てられた木造建築物であり、県内でも角田市の高蔵寺「阿弥陀堂」に次いで2番目に古いといわれています。

【所在地】〒987-0356 登米市豊里町空沢87番地 【問い合わせ】登米市教育委員会生涯学習課 ☎ 0220 (34) 2698 香林寺 ☎ 0225 (76) 2307

この山門は、昭和16年に当時のこけら葺の屋根を、瓦にふきかえるなどの改修を行いました。したが、平成2年に東北大監修のもと、香林寺が主体となって、移築当時の現状に近い形に復元、修理されて現在に至っています。間口は三間(5・46尺)、奥行は二間(3・64尺)あり、その柱など主なものには移築当時のものを使用。山門の裏側には月輪氏の家紋である二つ葉柏の彫刻が付けられているなど、約430年の歴史を伺い知ることができます。

歴史博物館

広報ミニ展示室 17

＝武蔵野図(伊達安芸宗重筆)＝



『武蔵野図』は、9月22日から開催する「佐沼亘理家伝来資料展」で展示されます。

佐沼亘理家に伝わる作品「武蔵野図」は、「伊勢物語 第十二段」に登場する『武蔵野は 今日のはな焼そ 若草の つまもこもれり われもこもれり』という和歌を題材にしています。うっそうと生い茂る草むらに駆け落ちて身を隠した男女を、衣装の模様にも細かく描きだしています。画題にもなっている武蔵野は、関東地方に広がる原野で、「万葉集」「更級日記」などの文芸作品にも登場する場所です。作者は伊達安芸宗重で、原田甲斐とともに伊達騒動(寛文事件)で命を落としています。佐沼亘理家初代の宗根にとってはいづれも甥であり、複雑な歴史背景があった時代の作品です。

とよま秋祭り

9/15(土)・16(日)

【15日・宵祭り】

- ▶ 薪能
伝統芸能伝承館「森舞台」
17:00～20:30 全席指定1,500～2,500円(※予約制)
- ▶ 小笠原流弓術
教育資料館前庭 14:00～15:00

【16日・本祭り】

- ▶ 山車・みこし・武者行列
町内中心部(寺池地区)
10:00～
 - ▶ 神楽大会
伝統芸能伝承館「森舞台」
15:00～18:00
- ※このほか、交流広場ではたくさんのイベントを実施します。

【問い合わせ】

登米総合支所地域生活課
☎ 0220(52)5051



東和 綱木之里大名行列

- 【日時】 9月16日(日)
11:00～12:00
- 【場所】 東和町米川地区
八幡神社付近
- 【内容】 騎馬先陣、道中奉行、天狗と獅子、稚児行列など、総勢100人で繰り広げられる行列
- 【問い合わせ】
東和総合支所
地域生活課
☎ 0220(53)4111



環境に優しい大豆油インキを使用しています



古紙配合率100%再生紙を使用しています